

(様式7-2)

研修派遣 精算書

令和 8年 3月 27日

三田市議会議員 肥後 淳三 様

本会派(私)は、研修派遣(参加)に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	市民とともに	代 表 者	
		議 員 名	大西 憲司
参加者氏名	大西 憲司		
研 修 先	全国市町村国際文化研究所(滋賀県大津市唐崎2-13-1)		
講 演 会 等 研 修 名	市町村議会議員研修(3日間コース)		
研 修 事 項	「新人議員のための地方自治の基本」第1回		
日 時	令和7年5月7日(水)～5月9日(金)		
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要
	参加負担金	3,900	研修費(1,300円/1日)
	宿泊料	2,300	研修生活活動費
	日 当		
	鉄道賃 (モ/レール)	3,280	1,640円×2(往復)(JR 三田-唐崎間)
	航空賃		
	バス賃		
	船 賃		
	タクシー		
	その他	440	振込手数料
合 計	9,920		
備 考			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入
会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名(無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

(様式7-3)

研修等 報告書

令和 8年 3月 27日

三田市議会議長 肥後 淳三 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。


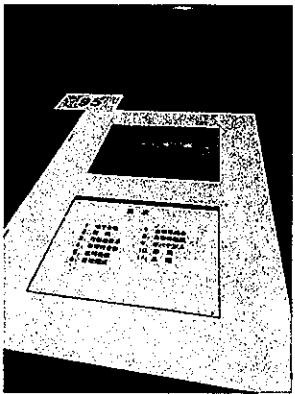
会 派 名	市民とともに	代表者	
		議員名	大西 憲司
参加者氏名	大西 憲司		
講演会等研修名	市町村議会議員研修 (3日間コース)		
研修事項	「新人議員のための地方自治の基本」第1回		
日 時	令和7年5月7日(水)～5月9日(金)		
場 所	全国市町村国際文化研究所 (滋賀県大津市唐崎 2-13-1)		
所 見 (別紙でも可)	別紙の通り		
添付資料	「新人議員のための地方自治の基本」第1回 資料		

添付書類 (講演会内容のパンフレット等)

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入の上、押印してください。

個人支給の場合、会派名 (無会派は記入不要)、議員名を記入の上、押印してください。

講義名	地方自治制度の基本
講師名	同志社大学 政策学部 大学院総合政策科学研究科 教授 野田 遊 氏
講義日時	5月7日 13:00～15:35
講義内容	<p>1. 地方分権 単一制国家：主権はあくまで中央政府（日本） 連邦制国家：中央政府と州政府が主権を分担 アングロサクソン型：分権・分離型 大陸型：集権・融合型（日本）</p> <p>2. 財政 地方税(財源全体の約40%) 地方交付税(約15%)用途は自由 国庫支出金(約15%)用途限定</p> <p>3. 行財政改革 定住・交流人口の増加策や企業立地促進等による税収増とともに削減や合併、連携の検討</p> <p>4. 市町村合併 財政効率を向上する可能性は高いが、地域の変化を許容できるか</p> <p>5. 広域連携 財政の効率性向上が認められるが、サービスの種類により効率性が異なる</p> <p>6. 行政編成 今後注目されるのは、県の基礎自治体化</p> <p>7. 自治体議会 議会の機能：代表機能、政策立案機能、監視機能</p> <p>8. 自治体組織</p> <p>9. ガバナンス 公共的問題の解決に向け多様な主体をうまく管理すること</p> <p>10. 政策 政策の過程で重要なのは、問題状況の把握と評価</p> <p>11. 広報 住民の認識は低く期待水準は高い、ネガティブバイアス、事前の信念が強い</p>
講義名	地方議会制度について
講師名	全国市議会議長会 企画事務部 副部長 篠田 光洋 氏
講義日時	5月7日 15:50～17:00
講義内容	<p>地方自治法における地方議会の役割、議員の職務等が明確化している。 町村議会議員のなり手不足対策⇒主権者教育の推進</p> <p>1. 地方議会の権限 (1)議決権 (2)監視権 (3)選挙権 (4)意見表明権 (5)自立権</p> <p>2. 地方議員の権利</p> <p>3. 地方議員の義務</p> <p>4. 議員の発言と法的責任等</p> <p>5. 議員の兼職・兼業の禁止</p> <p>6. 本議会の運営</p> <p>7. 委員会の運営</p>

講義名	地方議会と自治体財政	
講師名	武庫川女子大学 経営学部 教授 金崎 健太郎 氏	
講義日時	5月8日 9:00～12:30	
講義内容	<p>●地方財政制度のポイント</p> <p>国と地方の税財源配分と地方歳入の状況⇒歳入は国が多い、歳出は地方が多い</p> <p>地方財政計画の策定を通じた地方財源の確保について⇒一極集中とならないよう地方交付税で分配</p>	
講義名	条例と政策の審査・立案	
講師名	元衆議院法制局参事 吉田 利宏 氏	
講義日時	5月8日 13:30～17:30	
講義内容	<p>1. なぜ、議会からの政策立案が必要か</p> <p>2. 政策立案のためのスキルアップ</p> <p>3. 条例の典型的な規定</p> <p>演 条例立案に関するグループ演習</p> <p>5～6人のグループで条例立案の演習（意見交換・発表・まとめ）</p>	
講義名	これからの地方議員に期待されていること	
講師名	慶應義塾大学法学部政治学科教授 谷口 尚子氏	
講義日時	5月9日 9:00～12:30	
講義内容	<p>多様な人材の地方議会への参画促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 日本の民主主義 2 選挙の投票率を向上させるには 3 「主権者教育」は効果的か？ 4 「地方議員のなり手」を増やすには？ 5 終わりに：地方議会の改革について 	<p>我が国における地方議会のデジタル化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地方議会の危機とデジタル化 2 デジタル化時代における住民との関係 3 議会のオープン化
		
	JIAM施設前	講義中
所感	<p>新人議員として半年が経過し、日々様々な議案、議会のルールなどを勉強していく中で、今回の研修は非常に自分自身の学びとなりました。議員として何ができるのか、何をしなくてはいけないのかが明確になり、今後の議会の中でしっかりと活かしていく必要があると考えます。</p> <p>また、自治体予算に関しても国と自治体の違いなど細かに説明をいただき、今後の糧としていきたい。</p> <p>今回、多くの新人議員が受講されており、他自治体の議員と様々な議論を交わせたことも良い経験になった。</p>	